

- 問1 江戸時代の3代将軍徳川家光が武家諸法度で義務付けた制度で、諸大名が1年おきに江戸と自らの領地を往復し、さらに妻や子を江戸に住まわせることを定めたものを何といいますか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 土農工商の制 2. 禁中並公家諸法度 3. 寄親・寄子の制 4. 参勤交代
- 問2 江戸幕府が佐渡金山を幕府直轄地（天領）として自ら直接管理した目的について、当時の経済や政治の仕組みから説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 貨幣の材料となる金を独占的に確保し、通貨の発行権を握ることで経済を統制するため 2. 鉄砲の製造に不可欠な金と鉄を大量に採掘し、幕府独自の軍勢力を維持するため 3. 参勤交代で江戸にやってくる大名たちの宿泊費を補填するため、全国に金を配分するため 4. 長崎で行われていた中国やオランダとの貿易において、輸入品の代金として金を全量支払うため
- 問3 18世紀後半、江戸幕府の老中に就任した松平定信が、幕府の権威回復を目指して実施した改革は何ですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 正徳の治 2. 享保の改革 3. 天保の改革 4. 寛政の改革
- 問4 19世紀前半の江戸の町人文化に関する記述として、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
1. 足利義政が東山山荘を造営した時期の文化であり、水墨画や茶の湯が町人の間に浸透した。 2. 狩野永徳に代表される豪華絢爛な屏風絵が、新興の豪商たちの邸宅を飾る主役となった。 3. 人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を手がけた近松門左衛門が、上方を中心に活躍した元禄文化の全盛期であった。 4. 葛飾北斎らの浮世絵に代表されるように、出版・印刷技術の発達によって芸術が庶民の娯楽として定着した。
- 問5 日本の歴史における時代区分について、織田信長や豊臣秀吉による天下統一の動きから、徳川氏による江戸幕府の統治が終わるまでの時代を指す用語として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. 近代 2. 古代 3. 中世 4. 近世
- 問6 江戸幕府が、スペインやポルトガルなどの国々の来航を禁止する一方で、オランダに対しては長崎の出島での貿易を継続させた理由として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. オランダが当時、世界最大の茶の生産国であり、日本が輸入を必要としたから。 2. オランダはキリスト教の布教を目的とせず、貿易の利益を優先したから。 3. オランダが唯一、日本国内でのキリスト教の布教を認める条約を結んだから。 4. オランダが幕府に対して、鎖国体制を維持するための軍艦を無償で提供したから。
- 問7 田沼意次が、商人の同業者組織である「株仲間」を奨励した主な目的として、最も適切な背景を説明しているものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 長崎での貿易を縮小させ、国内産の商品だけで経済が完結するように商人を統制するため。 2. 農村での一揆を防ぐため、商人の資金を使って農地開発を全国規模で進めようとしたため。 3. 武士が商売を行うことを許可し、武士自らが利益を上げて生活を安定させる仕組みを作るため。 4. 貨幣経済が浸透する中で、商業活動から得られる利益に課税し、幕府の財政難を解消するため。
- 問8 かつての豊後国（現在の大分県）のように、複数の藩の領地が複雑に入り混じっている地域において、江戸幕府が特定の場所に「直轄地」を設けて代官を派遣した目的や仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 幕府が直接支配を行うことで、地域の重要拠点を確認し、各大名への監視や統制を強めるため 2. 守護や地頭を各地域に配置し、鎌倉時代以来の伝統的な地方統治を復活させるため 3. 土地の管理をすべて有力な農民に委ね、幕府が一切の介入をしない自治組織を作るため 4. それぞれの藩が自由に海外貿易を行えるよう、幕府が特区として認めた場所にするため
- 問9 江戸幕府は、鎖国体制下でも「四つの窓口」と呼ばれる特定の地域や藩を通じて、周辺諸国や民族との外交・貿易を継続しました。外交・貿易の相手先と、その実務を独占的に担当した藩の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 朝鮮：薩摩藩、琉球王国：対馬藩、アイヌの人々：松前藩 2. 朝鮮：対馬藩、琉球王国：薩摩藩、アイヌの人々：松前藩 3. 朝鮮：松前藩、琉球王国：薩摩藩、アイヌの人々：対馬藩 4. 朝鮮：対馬藩、琉球王国：長州藩、アイヌの人々：土佐藩
- 問10 江戸幕府が長崎に出島を完成させ、オランダ人や中国人の居住や活動をその場所に制限した主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 西洋の進んだ学問や文化を日本全国へ自由かつ速やかに普及させるための拠点とするため 2. キリスト教の布教を阻止し、貿易の利益と海外情報を幕府が独占的に管理するため 3. 当時深刻だった銀の海外流出を食い止めるために、一切の輸入品の受け入れを拒否するため 4. 鎖国を完成させる準備として、日本国内のすべての港における外国貿易を完全に廃止するため
- 問11 江戸時代の琉球王国に関する歴史的な状況を説明した記述として、誤っているものを選択してください。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 薩摩藩は、琉球が中国との朝貢貿易を有利に進められるよう、中国側の使節が来る際には日本風の文化を隠すよう命じた。 2. 薩摩藩の監視下で続けられた中国との貿易は、幕府にとっても中国の情報を得るための重要な窓口となっていた。 3. 1609年の薩摩藩の侵攻をきっかけに、琉球王国は首里城を中心とした統一国家としての機能を失い、薩摩藩の役人が直接統治を行う県となった。 4. 1609年の侵攻以降、琉球王国の国王が代わる際には「謝恩使」が、幕府の将軍が代わる際には「慶賀使」が江戸へ派遣された。
- 問12 18世紀後半から19世紀初めにかけて、アダム・ラクスマンが根室に来航し、さらに間宮林蔵が樺太（サハリン）の調査を行うなど、北方情勢が緊迫しました。これを受けた江戸幕府の対応として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
1. アイヌ民族との交易を独占していた松前藩の特権を認め、幕府は外交交渉のみを担当した。 2. 北方の防衛を強化するため、蝦夷地を松前藩から取り上げ、幕府による直接支配とした。 3. イギリスやアメリカの軍艦の来航に備え、蝦夷地の全域を会津藩の領地として割譲した。 4. ロシアとの通商を円滑にするため、蝦夷地を松前藩に委ねたまま貿易の拠点とした。
- 問13 江戸時代、幕府の命を受けて日本全国を歩いて測量し、初の正確な日本地図である「大日本沿海輿地全図」を作成した人物は誰ですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 杉田玄白 2. 本居宣長 3. 伊能忠敬 4. 菱川師宣

答え合わせ・解説

問1	答え 4 参勤交代	3代将軍徳川家光は、それまで慣習的に行われていた大名の江戸への出仕を「参勤交代」として制度化しました。大名は1年おきに江戸と領地を行き来する必要があり、江戸滞在中の費用や移動のための旅費はすべて大名側の負担とされました。これにより幕府は大名の経済力をコントロールし、軍事的な反乱を未然に防ぐ仕組みを整えました。
問2	答え 1 貨幣の材料となる金を独占的に確保し、通貨の発行権を握ることで経済を統制するため	幕府が強力な支配力を維持するためには、通貨の発行権と材料の管理が不可欠でした。佐渡金山から採掘された金は、江戸の金座などで金貨（小判など）に加工され、幕府の財政や全国の流通を支えました。貴重な資源を幕府が直接押さえることは、諸大名に対する経済的な優位を保ち、幕藩体制を安定させるという政治的な狙いもありました。
問3	答え 4 寛政の改革	松平定信は、祖父である徳川吉宗が行った享保の改革を理想とし、飢饉などの社会不安を背景に幕府の立て直しを図りました。この改革では、質素倹約の奨励や、旗本・御家人の借金を帳消しにする法令の制定など、厳しい緊縮財政と統制が行われました。
問4	答え 4 葛飾北斎らの浮世絵に代表されるように、出版・印刷技術の発達によって芸術が庶民の娯楽として定着した。	19世紀前半の文化は化政文化と呼ばれ、江戸を中心に発達しました。この時期、版画（木版印刷）の技術が確立されたことで、浮世絵は単なる観賞用としてだけでなく、旅のガイドブックや広告、カレンダーのような役割も果たし、日常生活に密着した娯楽として広く浸透しました。屏風絵は安土桃山時代、近松門左衛門は元禄文化（江戸時代前期）の代表例であり、時代背景が異なります。
問5	答え 4 近世	日本の歴史において、安土桃山時代と江戸時代を合わせた期間は「近世」と呼ばれます。これは鎌倉時代や室町時代などの「中世」と、明治維新以降の「近代」の間に位置づけられる時代区分です。強力な中央政権によって全国的な支配体系が整えられたことが特徴です。
問6	答え 2 オランダはキリスト教の布教を目的とせず、貿易の利益を優先したから。	幕府にとって最大の懸念は、キリスト教の布教が封建的な支配体制を揺るがすことでした。スペインやポルトガルが布教と貿易を一体化させていたのに対し、プロテスタント諸国であったオランダは布教を強行せず、商業活動に専念する姿勢を示したため、信頼を得て貿易が許可されました。
問7	答え 4 貨幣経済が浸透する中で、商業活動から得られる利益に課税し、幕府の財政難を解消するため。	江戸時代中期になると貨幣経済が農村まで広がり、幕府は従来の年貢だけでは財政を維持できなくなっていました。そこで田沼意次は、活発化していた商業活動に注目しました。株仲間を公認して商人に特権を与える対価として、現金で税を徴収する仕組みを整え、幕府の財源を多様化させようとした。この政策は実利を重視した革新的なものでしたが、一方で賄賂の横行などの批判を招く要因にもなりました。
問8	答え 1 幕府が直接支配を行うことで、地域の重要拠点を確保し、各大名への監視や統制を強めるため	江戸幕府は、地方の大名がひしめき合う地域や交通・軍事の要所に直轄地を置きました。これにより、幕府から派遣された代官が直接支配を行い、周辺の藩に対する政治的な影響力や監視を維持する狙いがありました。藩が統治する「藩領」とは異なり、幕府の強力な経済基盤および統治能力を示す象徴的な役割も果たしていました。
問9	答え 2 朝鮮：対馬藩、琉球王国：薩摩藩、アイヌの人々：松前藩	江戸幕府は、対馬藩（宗氏）を通じて朝鮮との国交を維持し、朝鮮通信使の来日などを仲介させました。また、薩摩藩（島津氏）は琉球王国を服属させ、琉球からの使節（慶賀使・恩謝使）を通じて貿易の利益を得ました。蝦夷地のアイヌの人々との交易については、松前藩が幕府から独占的な権利を認められていました。これらに長崎（オランダ・中国が相手）を加えたものが「四つの窓口」の実態です。
問10	答え 2 キリスト教の布教を阻止し、貿易の利益と海外情報を幕府が独占的に管理するため	幕府は、キリスト教が民衆に広まることで統治が脅かされることを最も恐れていました。そのため、外国人を特定の場所に隔離して監視することで布教活動を封じ込める一方、貿易による利益を幕府が確保し、オランダ風説書などを通じて海外の情報を独占的に入手する体制を整えました。
問11	答え 3 1609年の薩摩藩の侵攻をきっかけに、琉球王国は首里城を中心とした統一国家としての機能を失い、薩摩藩の役人が直接統治を行う県となった。	1609年の侵攻後も、琉球王国は王制を維持しており、薩摩藩による間接的な支配が行われていました。琉球が日本の一つの県（沖縄県）として直接統治されるようになるのは、明治時代の「琉球処分」以降のことです。また、薩摩藩は中国との貿易を円滑にするため、琉球に対してあえて中国風の儀礼や文化を維持することを求め、中国側に対しては日本の支配下にあることを隠そうとしていました。
問12	答え 2 北方の防衛を強化するため、蝦夷地を松前藩から取り上げ、幕府による直接支配とした。	18世紀末、ロシアのアダム・ラクスマンが通商を求めて根室に来航したことをきっかけに、幕府は北方からの脅威を強く認識するようになりました。それまで蝦夷地（現在の北海道など）の支配は松前藩に任されていたが、幕府は最上徳内や間宮林蔵を派遣して地理的調査を行うとともに、防衛を強化する目的で蝦夷地を幕府の直轄地（直接支配）としました。
問13	答え 3 伊能忠敬	江戸時代後期、幕府の命を受けた伊能忠敬は、50歳を過ぎてから本格的に天文学を学び、約17年をかけて日本全国の海岸線を歩いて測量しました。この測量結果を基に作成された地図は、当時の世界水準に照らしても極めて精度の高いものとして評価されています。なお、選択肢にある杉田玄白は『解体新書』の翻訳、菱川師宣は浮世絵、本居宣長は国学の大成者として知られる人物です。